

コスト増加による採算悪化や人手不足が深刻化

米国関税や国際情勢など外部要因による不透明感続く

～景況DI値は、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス26.3～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 6月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比21.0ポイント低下のマイナス21.0。非製造業では、前月比同水準のプラス21.0、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス5.3。

販売（受注）価格 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比同水準のプラス21.0。非製造業では、DI値前月比10.5ポイント低下のプラス5.3、前年同月比15.8ポイント上昇のプラス57.9。

収益状況 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス15.8、前年同月比26.3ポイント低下のマイナス42.1。非製造業では、前月比15.9ポイント低下のマイナス10.6、前年同月比10.6ポイント上昇のプラス15.8。

資金繰り 製造業では、DI値前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比15.7ポイント低下のマイナス10.5。非製造業では、前月比0.1ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比10.5ポイント上昇のプラスマイナス0。

雇用人員 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス21.1。非製造業では、前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス5.3。

景況 製造業では、DI値前月比15.7ポイント上昇のマイナス21.1、前年同月比21.0ポイント低下のマイナス42.1。非製造業では、前月比5.3ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス10.6。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比5.3ポイント上昇のマイナス13.1、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス26.3となった。製造業では、食料品関連を中心に光熱費の高止まりや原材料費の上昇が収益を圧迫している。製造業全体として受注の減少や価格転嫁難から厳しい環境が続いており、景況感はマイナス傾向が続いている。非製造業では、観光関連の一部で回復の兆しはあるものの、物価高騰による消費マインドが低下しているほか、卸売や運輸、建設業を中心に労務費をはじめとするコストの増加による採算悪化や人手不足が深刻化している。県内景況は、売上高、収益状況、資金繰りなど多くの項目で前年割れとなっており、見通しは厳しい。総じて人手不足や後継者問題も深刻化しているほか、米国関税や国際情勢など外部要因による不透明感も続いており、先行き不透明な状況が続いている。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

6月の全国倒産は、件数869件で、（前年同月807件、7.7%増）となり、2カ月ぶりに前年を上回った。6月としては過去10年で最多となった。2025年は2月を除いて800件を上回り、高止まりが続いている。

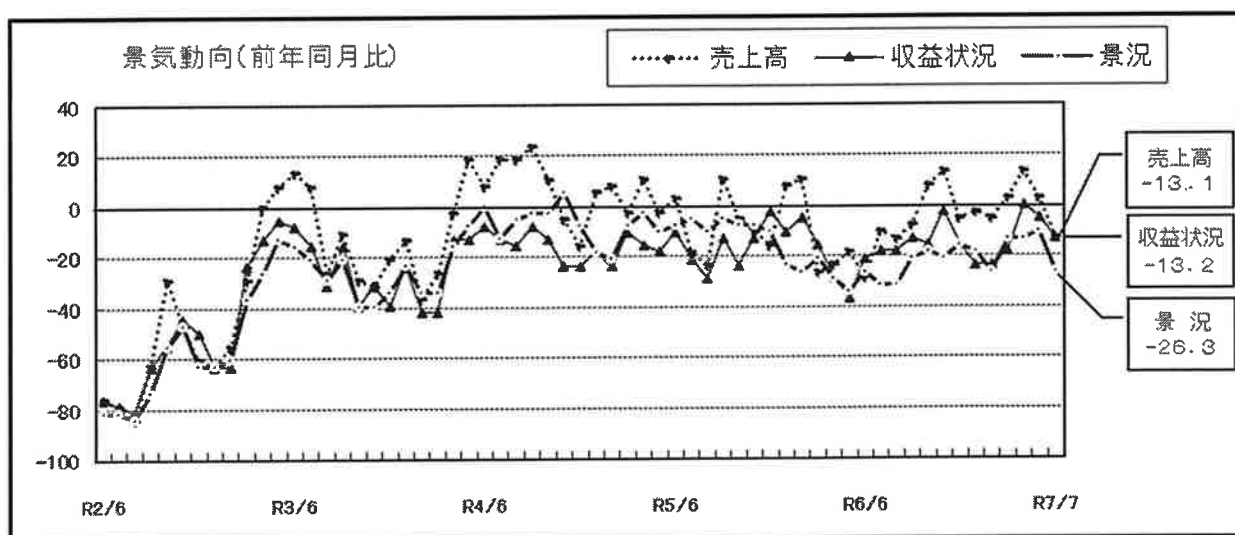
一方、6月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数3件（前月1件）、負債総額は3億3900万円（前月4000万円）となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報5月分」）

鳥取県の5月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.28倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.24倍）で、前月より0.06ポイント低下した。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.08倍、米子所1.23倍、倉吉所1.33倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.13倍（季節調整値）で、前月より0.24ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比10.9%減少し、有効求人数も3.1%減少した。産業別に前年同月で比較すると、運輸業・郵便業（11.3%）、卸売業・小売業（5.5%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比4.1%減少、有効求職者数は前年同月比3.5%減少となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は0.98倍で、前年同月に比べ0.04ポイント低下、新規求人数は前年同月に比べ23.0%減少した。



6月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	26.3%	36.8%	-10.5 0.0	15.8%	42.1%	21.0 0.0	21.1%	39.5%	-18.4 -23.7
(2) 在庫数量	0.0%	10.5%	-10.5 -10.5	16.7%	0.0%	16.7 -8.3	6.5%	6.5%	0.0 -9.6
(3) 販売価格	21.1%	5.3%	15.8 5.3	15.8%	10.5%	5.3 -10.5	18.4%	7.9%	10.5 -2.6
(4) 取引条件	0.0%	5.3%	-5.3 10.5	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	2.6%	-2.6 5.3
(5) 収益状況	15.8%	31.6%	-15.8 0.0	10.5%	21.1%	-10.6 -15.9	13.2%	26.3%	-13.1 -18.4
(6) 資金繰り	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	5.3%	-5.3 -0.1	0.0%	2.6%	-2.6 0.0
(7) 設備操業度	5.3%	26.3%	-21.0 -36.8						
(8) 雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	5.3%	-5.3 -0.1
(9) 景 況	0.0%	21.1%	-21.1 15.7	10.5%	15.8%	-5.3 -5.3	5.3%	18.4%	-13.1 5.3

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	21.1%	42.1%	-21.0 -21.0	26.3%	31.6%	-5.3 -10.6	23.7%	36.8%	-13.1 -15.8
(2) 在庫数量	0.0%	10.5%	-10.5 -15.7	16.7%	8.3%	8.4 -8.3	6.5%	9.7%	-3.2 -12.8
(3) 販売価格	26.3%	5.3%	21.0 0.0	57.9%	0.0%	57.9 15.8	42.1%	2.6%	39.5 7.9
(4) 取引条件	0.0%	21.1%	-21.1 -10.6	0.0%	10.5%	-10.5 -5.3	0.0%	15.8%	-15.8 -7.9
(5) 収益状況	5.3%	47.4%	-42.1 -26.3	31.6%	15.8%	15.8 10.6	18.4%	31.6%	-13.2 -8.0
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 -15.7	15.8%	15.8%	0.0 10.5	7.9%	13.2%	-5.3 -2.7
(7) 設備操業度	5.3%	21.1%	-15.8 -21.1						
(8) 雇用人員	0.0%	21.1%	-21.1 -5.3	10.5%	15.8%	-5.3 -5.3	5.3%	18.4%	-13.1 -5.2
(9) 景 況	0.0%	42.1%	-42.1 -21.0	10.5%	21.1%	-10.6 -10.6	5.3%	31.6%	-26.3 -15.8

*D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 電気、LPガス等光熱費の高止まりが続いているなか、一部商品の値上げにより販売単価の上昇が見受けられた。一時落ち着いたかに見えた鶏卵価格について、全国的な猛暑の影響により上昇傾向にある。

醤油⇒ 鳥取県産の味噌は米味噌100%であり地元産の米が望まれるため原材料の高騰が続いている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 国内マーケットは相変わらず冷え込んでおり、衣料品需要に改善の兆しは見られない。生産拠点は日本に戻ってきているが、本年より再度海外に目を向けているメーカーが多数存在する。この影響により、国内製造の操業度の低下が懸念される。

ニット製品⇒ 衣料品国内消費は低空飛行が続いており、受注動向に大きな変化は見受けられない。

【家具・装備品】

⇒ 需要低迷のなか、物価高に伴う原材料や燃料費の上昇により収益性が低下、加えて建物等設備の老朽化や後継者不足もあり、地域の同業者に廃業の動きが散見される。需要減により前月比、前年同月比で売上は減少、収益状況も悪化した。

【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で増加、前年同月比で減少、合板の生産量は前月比で微減となった。法改正により建築戸数は落ち込みを見せていたが6月から若干の回復傾向が見受けられたうえ、新築物件を抱える建築業者も増加したが、建築確認申請から許可の下りる日数が伸びているため予定の日程で着工にかかれないなどの状況や、品質的に良い製品が制作できる時期ではないことも含め製材品の需要拡大にはつながっていない。プレカット加工の稼働率は前月比45%、前年同月比は70%で推移した。

【紙・加工品】

和紙⇒ 円安の影響により原材料等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比、前年同月比で増加、販売価格、収益状況はともに横ばいで推移した。

【印刷】

⇒ ここ近年はイベントなどでのチラシ印刷が減少傾向となっており、代わりにSNSを利用した広告が増加傾向にある。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 東部地区の5月の出荷量は、前月比119%、前年同月比約103%となり、いずれも増加となった。今後は減少傾向に転じると予想される。中部地区では前月比約87%、前年同月比約71%と大幅に減少した。4～6月の累計でも前年同月比は70%台にとどまり、極めて低調な水準となっており、今後も低調が続く見通

し。西部地区では前月比約93%とやや減少したものの、前年同月比では約115%と堅調な伸びを示した。今後も回復基調が続くと予想される。若手人材の確保に苦慮しており、今後の事業継続上の課題となっている。

【金属製品】

金属部品加工⇒ 業界は依然厳しい状況が続いており、持ち直しの動きは見られない。トランプ政策の行方を見守っているエンドユーザーが設備投資を踏み止まっている状況で、自動車、半導体などの設備部品の受注が低迷しており、先行きに不透明感を抱えている企業が大半である一方、国内の食品関連の部品受注に方針を切り替えて営業している事業者が見受けられ、出口の見えない状況ではあるが、各企業で打開策の模索が続いている。今後はPC、スマートフォンの次世代モデルの需要次第で業界全体の動向が左右される。

鉄骨加工⇒ 依然として見積件数、引き合い案件は少なく、景気の低迷が続いている。H・M グレードの手持ち工事量の企業間格差はあるものの、H グレード企業では、免震構造でフェーシング加工（端面を平坦に仕上げる加工方法）と加工難易度の高い技術能力、管理能力、生産能力を備え、お得意様との強い信頼関係を保ちながら対応している。また、労働安全衛生法に基づき6月1日から熱中症対策が義務付けられ、社員の健康管理と熱中症対策に取り組んでいる。

金属熱処理⇒ 6月の受注状況は前月比、前年同月比でいずれも増加した。一部の製管用部品、建機関係部品の受注が活発であった。全般的には低迷からは脱しておらず、金属関係部品製造は厳しい状況にある。地元企業も含め依然として良い情報はないが、極めて少ないが受注が拡大している企業も見受けられる。

【電気機械器具】

⇒ 米国関税による影響は今後の不安要素となっており、業界動向は依然として低迷している。今後についても、年内、年度内の回復は困難な見通しとなっている。人手不足が深刻となっており、人材確保のため賃上げは必至であるが、価格転嫁は困難なため利益確保が厳しい状況。設備投資も低迷している。

非製造業

【卸売業】

東 部 地 区⇒ 青果関係では、取扱数量はスイカ等の季節野菜を中心に前月比、前年同月比で減少している。売上高は、取扱数量が減ったことにより、前月比、前年同月比とも減少した。鮮魚関係では、取扱数量は前月比で大きく減少し、前年同月比では減少した。売上高は単価の上昇により前年同月比で横ばいとなった。

中 部 地 区⇒ Windows 10からWindows 11にアップグレードできないパソコンと対応ができないソフトの入れ替えにより売上増加につながっている。独自で行ったアンケートでは「セキュリティの向上」、「業務の効率化」に興味があるとの回答が大半を占めたほか、年々増加するサイバー攻撃への対策や、AI等の活用による人材不足への対応、生産性の向上を図りたい等の回答が見受けられた。

西 部 地 区⇒ 食料品、消耗品等の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見受けられる。人材確保が難しくなっているうえ、最低賃金の上昇による人件費上昇が懸念されている。日銀の利上げにより各金

融機関の利上げ基調が強まってきており、今後の影響が危惧される。米国関税の影響は現状では見られないが、先行き不透明感は強まっている。

水産物⇒ 巻き網は小型のサバ水揚げに加え月の後半は小羽小ウルメの混獲漁が続き昨年を上回る水揚げとなった。いずれも鮮魚対象になるサイズは乏しく輸出、餌料向けの凍結となったが、同種のものが他地域にも多く、荷動きは鈍く保管冷蔵庫が満杯となり漁獲量の調整が続いた。例年より早く始まったマグロ漁は順調に推移したが100キロを上回る大型魚が多く、特化した高値もなくほぼ月内で漁獲枠を消化した。近海は定置のブリ類が若干獲れたものの夏枯れ状態。隠岐の島沖でスルメイカが1日100～200ケース程度の水揚げとなった。紅ズワイガニは7月からの休漁期が迫ったことから夏季の仕事確保、需要の思惑買いもあって昨年より高値で推移した。

リサイクル原料⇒ 非鉄金属関連において米国関税の影響が見受けられる。売上高は前月比、前年同月比ともに同水準で推移した。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、物価高騰による消費マインドの低下が続いており、来街者も減少し、街区店舗は苦戦を強いられている。仕入れ価格も引き続き高騰しており価格転嫁が追い付かない状況が街区店舗・事業所の収益を圧迫している。ボーナス月を迎え売上の増加を期待したが、ほとんど動きは見受けられず、消費者は依然として節約志向である。観光客等、人流は増加傾向ではあるが、物販の消費は厳しい状況が続いている。インバウンドを含む旅行客の増加はプラス要因であるが、飲食は大型の宴会は減少しているうえ、物価上昇でコストの負担が大きくなっており、引き続き厳しい。宿泊関連は引き続き好調となっている。

鳥取市の水産物小売では、来場者は前年同月比で若干の減少、前月比では連休の兼ね合いで減少し、売上高は減少した。

中部地区⇒ 倉吉市の商店街では、商店街の近隣に位置する白壁土蔵群には県立美術館の効果により来街者が増加しているが、倉吉銀座商店街へは目立った流入が見受けられず、イベントの開催が重要であると感じた。夏の風物詩となった土曜夜市の企画実施に向けて準備作業をおこなっている。また、恒例のひなビタ♪の姉妹アイドルユニット『ここなつ』の誕生祭が6月に実施され、ファンの来街が見受けられた。『アートスタンプラリー』や『ひなビタ♪スタンプラリー』により来街者の増加を目指したい。また、漫画家 谷口ジロー氏の『遙かな町』のクランクインが待たれる。

西部地区⇒ 米子市の商店街では、店舗の売上、集客数は前年同月比で減少した。飲食関連ではさらに仕入れ価格が高騰し、提供価格についても値上げをせざるを得ず、消費マインドが低下している。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、団体バスについては各社万博へのツアーが好調となっている影響により例年より少なくなっている。個人客は好天に恵まれインバウンド客の増加も見受けられ売上の底上げ要因となった。例年より早い暑さの影響により6月下旬以降の観光客数はやや減少傾向となっている。

米子市のホテル・旅館では、万博の影響もあり宿泊客は減少した。皆生温泉

エリアでは飲食店が増え活気が出始めている。恒常的に人材不足が続いている。

三朝温泉では、月初めには温泉むすめのトークライブが開催され、開催前後3日間は宿泊、温泉街が多くのファンで賑わった。6/1～6/30までの期間ホテル祭りを開催し、夜の人通りは多かったが、今年はホテルの数が少なく徐々に減っていった。宿泊客は月を通して少なく、夏休みまで続く見込み。

羽合温泉では、6月の宿泊は前月比約25%減少、前年同月比約20%増加となった。前年同月比の増加についてはアジア圏のインバウンドの伸長と、東郷温泉の旅館2件が休館であったため例年より比率が高くなった。

【自動車整備業】

⇒ 6月の新車は普通車・軽自動車を含わせて1,544台で前月比は18.6%の増加、前年同月比は8.3%の減少であった。中古車は普通車・軽自動車を含わせて692台で前月比2.0%の減少、前年同月比は0.6%の増加であった。継続検査は普通車・軽自動車を含わせて16,195台で前月比9.7%の減少、前年同月比は11.5%の増加であった。

【建設業】

⇒ 5月の県内公共工事発注(西日本建設業保証㈱保証取扱)は、請負金額65億円(前年同月比0.9%増)、件数105件(前年同月比13.9%減)となった。地区別では、前年同月比で中部、西部地区で増加、東部、八頭、日野地区で減少となった。公共投資は単月で小幅な前年同月比プラスになるも、年度累計は小幅なマイナスとなる。住宅投資、設備投資は大幅なマイナスが続き、全体としては弱めの動きとなっている。資材価格や労務費の高騰によるコストの増加が続くなか、価格転嫁できない赤字工事も発生し、売上、採算の悪化は継続している。また、米国関税や海外要因に伴う下振れリスクが引き続き懸念されている。

5月の鳥取県新設住宅着工戸数は52戸(持家52戸、貸家0戸)で、前月比52%減少、前年同月比72%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 6月の物流は、製造業関係や農産物の輸送が少なく、先月に引き続き低調な動きとなった。依然として荷物が不足して空いた車両が目立つ状況が続いている中、ドライバー不足や時間外労働規制を背景に、スポット運賃は高止まりが続いている。売上は、前月比では維持、前年同月比では増加しており、改善の兆しが見えつつあるものの、燃料価格や人件費及び車両本体価格などの高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしており、今後も厳しい状況に変わりはない。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・電気料金、ガス料金の値下げを望む。米国関税に対するコストダウンを下請けに依頼しないよう対策を望む。【金属熱処理業】
- ・消費税廃止など大胆な経済政策を望む。【商店街】
- ・「ひなビタ♪」、「相撲の街」、「映画の街」を売りにしながら商店街の支援をお願いしたい。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2024年												2025年		前年との 増減幅
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
売 上 高	製 造 業	5.3	10.5	-36.9	42.0	26.3	-10.5	-5.2	-21.0	-5.3	5.2	21.0	-10.5	-10.5	-15.8	
	非製造業	-31.6	15.7	31.5	-47.3	21.0	15.7	-5.3	-36.8	15.8	68.4	-26.3	21.0	21.0	52.6	
	全 業 種	-13.1	13.2	-2.6	-2.6	23.7	2.6	-5.2	-29.0	5.3	36.9	-2.7	5.3	-18.4	-5.3	
在庫数量	製 造 業	-5.2	21.1	-10.5	5.3	0.0	15.8	-15.8	-10.5	5.3	-21.1	-26.3	0.0	-10.5	-5.3	
	非製造業	-8.3	0.0	16.7	-25.0	0.0	8.4	16.7	-8.4	8.3	25.0	8.4	25.0	16.7	25.0	
	全 業 種	-6.5	12.9	0.0	-6.4	0.0	12.9	-3.2	-9.6	6.4	-3.2	-12.9	9.6	0.0	6.5	
販売価格	製 造 業	0.0	5.2	10.5	10.5	5.3	5.2	-5.2	5.3	10.5	10.5	-5.2	10.5	15.8	15.8	
	非製造業	15.8	0.0	26.3	5.3	21.0	42.1	36.8	5.3	5.3	10.5	10.5	15.8	5.3	-10.5	
	全 業 種	7.9	2.6	18.5	7.9	13.2	23.6	15.8	5.2	7.9	10.5	2.6	13.1	10.5	2.6	
取引条件	製 造 業	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.2	-10.5	0.0	-15.8	-5.3	0.0	
	非製造業	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	
	全 業 種	-5.3	0.0	-2.6	-2.6	2.6	2.6	0.0	-2.7	-2.7	-5.3	0.0	-7.9	-2.6	2.7	
収益状況	製 造 業	0.0	-5.3	-36.8	-15.8	-26.3	-42.1	-21.1	-26.3	-10.6	-31.5	-5.3	-15.8	-15.8	-15.8	
	非製造業	-21.0	15.8	21.0	21.0	10.5	21.1	-5.3	-15.8	10.6	21.1	-26.3	5.3	-10.6	10.4	
	全 業 種	-10.5	5.3	-7.9	-18.4	-7.9	-10.5	-13.2	-21.0	0.0	-5.3	-15.8	5.3	-13.1	-2.6	
資金繰り	製 造 業	5.2	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-21.1	-21.1	-5.3	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	0.0	-5.2	
	非製造業	-15.8	0.0	15.8	-10.5	15.8	15.8	0.0	-21.1	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	-5.3	10.5	
	全 業 種	-5.2	-5.2	5.3	-7.9	2.7	-2.6	-10.6	-13.1	-7.9	-2.6	-7.9	-2.6	-2.6	2.6	
設備操業度	製 造 業	5.3	-5.3	-31.5	0.0	5.3	-5.2	10.6	-31.5	5.3	0.0	5.2	15.8	-21.0	-26.3	
雇用人員	製 造 業	5.3	-5.2	-15.8	-10.5	-5.2	-5.2	-5.2	-21.0	-10.5	0.0	-5.3	-10.5	-10.5	-15.8	
	非製造業	-10.5	0.0	10.5	-10.5	0.0	5.3	10.5	-5.3	-10.5	-5.3	-5.3	0.0	0.0	10.5	
	全 業 種	-2.6	-2.6	-2.6	-10.6	-2.7	0.0	2.6	-13.2	-10.6	-2.7	-5.3	-5.2	-5.3	-2.7	
景 況	製 造 業	-15.8	-31.6	-26.3	-26.3	-26.3	-36.8	-31.5	-42.1	-31.5	-26.3	-31.5	-36.8	-21.1	-5.3	
	非製造業	-31.5	0.0	0.0	-21.1	0.0	15.8	-5.3	-10.6	0.0	21.1	-26.3	0.0	-5.3	26.2	
	全 業 種	-23.6	-15.0	-13.1	-23.7	-13.1	-10.5	-18.4	-26.3	-15.8	-2.6	-28.9	-18.4	-13.1	10.5	

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2024年												2025年	前年との 増減幅
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
売 上 高	製 造 業	-26.3	-26.3	-47.4	-21.1	-10.5	5.2	-15.8	0.0	5.2	-5.3	10.5	0.0	-21.0	5.3
	非製造業	-31.5	5.2	21.1	5.3	26.3	21.0	5.2	-5.2	-15.8	10.5	15.7	5.3	-5.3	26.2
	全 業 種	-28.9	-10.5	-13.2	-7.9	7.9	13.2	-5.3	-2.6	-5.3	2.6	13.2	2.7	-13.1	15.8
在庫数量	製 造 業	0.0	5.2	-15.8	-21.0	-15.8	0.0	-10.6	-10.5	-10.5	-15.8	-21.0	5.2	-10.5	-10.5
	非製造業	-8.4	-8.3	25.0	8.3	16.7	25.0	16.7	16.7	8.4	16.7	-16.7	16.7	8.4	16.8
	全 業 種	-3.2	0.0	0.0	-9.6	-3.2	9.7	0.0	0.0	-3.2	-3.2	-6.5	9.6	-3.2	0.0
販売価格	製 造 業	-5.3	0.0	0.0	26.3	15.8	0.0	-5.3	15.8	10.5	26.3	26.3	21.0	21.0	26.3
	非製造業	31.6	26.3	42.1	36.8	42.1	57.9	57.9	63.2	52.6	57.9	52.6	42.1	57.9	26.3
	全 業 種	13.1	13.1	21.1	31.6	28.9	28.9	26.3	39.5	31.6	42.1	39.4	31.6	39.5	26.4
取引条件	製 造 業	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-5.3	-5.2	-5.2	-10.5	-10.5	-10.5	-21.1	-10.6
	非製造業	0.0	-10.5	-5.2	0.0	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	-5.2	-10.5	-10.5
	全 業 種	-5.2	-10.6	-7.9	-7.9	-10.6	-2.6	-7.9	-10.5	-10.6	-13.2	-13.2	-7.9	-15.8	-10.6
収益状況	製 造 業	-21.0	-26.3	-42.1	-26.3	-36.9	-26.3	-36.8	-36.8	-47.3	-42.1	-5.2	-15.8	-42.1	-21.1
	非製造業	-21.0	-10.5	5.3	0.0	5.2	21.1	5.3	-10.5	0.0	5.3	5.3	5.2	15.8	36.8
	全 業 種	-21.0	-18.4	-18.4	-13.2	-15.8	-2.6	-15.8	-23.6	-23.7	-18.4	0.0	-5.2	-13.2	7.8
資金繰り	製 造 業	-10.5	-10.5	-26.3	-15.8	-10.9	-10.5	-15.8	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	5.2	-10.5	0.0
	非製造業	-21.1	-10.5	-10.5	5.3	5.3	10.5	5.3	-15.8	-5.3	-10.5	-5.2	-10.5	0.0	21.1
	全 業 種	-15.8	-10.5	-18.4	-5.2	-2.6	0.0	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	-2.6	-2.6	-5.3	10.5
設備操業度	製 造 業	-5.3	-21.0	-31.6	0.0	-5.3	0.0	-15.8	-26.3	-26.3	-21.1	-10.6	5.3	-15.8	-10.5
雇用人員	製 造 業	-26.3	-10.6	-15.8	-31.5	-21.1	-21.0	-26.3	-36.8	-31.5	-10.6	-10.5	-15.8	-21.1	5.2
	非製造業	-15.8	5.2	5.2	5.2	5.3	0.0	5.2	5.2	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3	10.5
	全 業 種	-21.0	-2.7	-5.3	-13.2	-7.9	-10.5	-10.5	-15.8	-13.2	-5.3	-5.3	-7.9	-13.1	7.9
景 況	製 造 業	-21.1	-36.8	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3	-36.8	-42.1	-31.6	-26.3	-21.1	-42.1	-21.0
	非製造業	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	0.0	-5.2	-5.2	0.0	-10.5	5.3	0.0	0.0	-10.6	21.0
	全 業 種	-26.3	-31.5	-31.6	-21.0	-18.4	-21.1	-15.8	-18.4	-26.3	-13.2	-13.2	-10.5	-26.3	0.0

情報連絡員報告総括表(令和7年6月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製造業	食料品			1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0
	繊維工業			0	3	0	0	0	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	0	2	1	0	3	0	0	3
	木材・木製品			1	0	3	0	1	3	0	0	4	0	1	0	3	0	4	0	0	2	2	0	4	0	0	2
	紙・紙加工品			1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
	出版・印刷			0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1
	化学ゴム																										
製造業	窯業・土石製品			1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1
	鉄鋼・金属			0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	1	1	0	1	0	2	0	0	1
	一般機器			1	1	1	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3
	電気機器			0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	輸送用機器																										
	その他																										
非製造業	19	5	7	7	0	17	2	4	14	1	0	18	1	3	10	6	0	19	0	1	13	5	0	17	2	0	15
100%	26.3%	36.8%	36.8%	0.0%	89.5%	10.5%	21.1%	73.7%	5.3%	0.0%	94.7%	5.3%	15.8%	52.6%	31.6%	0.0%	100.0%	0.0%	5.3%	68.4%	26.3%	0.0%	89.5%	10.5%	0.0%	78.9%	21.1%
非製造業	卸売業			1	4	1	1	5	0	0	6	0	1	5	0	0	6	0				0	6	0	2	4	0
	小売業			0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	商店街			1	2	1	1	3	0	2	0	4	0	0	4	0	0	4	0			0	4	0	0	2	2
	サービス業			1	0	4	0	5	0	0	5	0	0	2	3	0	4	1				0	5	0	0	4	1
	建設業			0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	運輸業			0	1	1			0	1	0	2	0	1	1	0	0	2	0			0	2	0	0	2	0
非製造業	その他																										
19	3	8	8	2	9	0	3	14	2	0	19	0	2	13	4	0	18	1				0	19	0	2	14	3
100%	15.8%	42.1%	42.1%	16.7%	75.0%	0.0%	15.8%	73.7%	10.5%	0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	68.4%	21.1%	0.0%	94.7%	5.3%				0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	73.7%	15.8%
38	8	15	15	2	26	2	7	28	3	0	37	1	5	23	10	0	37	1	1	13	5	0	36	2	2	29	7
100%	21.1%	39.5%	39.5%	6.5%	83.9%	6.5%	18.4%	73.7%	7.9%	0.0%	97.4%	2.6%	13.2%	60.5%	26.3%	0.0%	97.4%	2.6%	5.3%	68.4%	26.3%	0.0%	94.7%	5.3%	5.3%	76.3%	18.4%

情報連絡員報告総括表(令和7年6月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化					
製造業	食料品	1	1	0	0	1	1	2	0	0	0	2	0	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0				
	繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0				
	木材・木製品	0	0	4	0	4	0	1	3	0	0	3	1	0	0	4	0	2	2	0	3	1	0	1	3				
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1				
	出版・印刷	0	1	1	0	2	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1				
	化学ゴム																												
業	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1				
	鉄鋼・金属	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	0	2				
	一般機器	2	1	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0				
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				
	輸送用機器																												
	その他																												
非製造業	卸売業	19	4	7	8	0	17	2	5	13	1	0	15	4	1	9	9	0	17	2	1	14	4	0	15	4	0	11	8
	小売業	100%	21.1%	36.8%	42.1%	0.0%	89.5%	10.5%	26.3%	68.4%	5.3%	0.0%	78.9%	21.1%	5.3%	47.4%	47.4%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%	78.9%	21.1%	0.0%	57.9%	42.1%
	商店街	0	4	2	1	5	0	2	4	0	0	6	0	1	5	0	0	6	0					1	5	0	1	5	0
	サービス業	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0					0	1	0	0	1	0
	建設業	0	2	2	1	2	1	3	1	0	0	3	1	0	2	2	0	2	0					0	2	2	0	1	3
	運輸業	2	1	2				3	2	0	0	4	1	3	2	0	2	3	0					1	4	0	1	4	0
	その他	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1					0	0	1	0	0	1
	その他	2	0	0				1	1	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0					0	2	0	0	2	0
	その他																												
	業	19	5	8	6	2	8	1	11	8	0	0	17	2	6	10	3	3	13	3					2	14	3	2	13
100%		26.3%	42.1%	31.6%	16.7%	66.7%	8.3%	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	89.5%	10.5%	31.6%	52.6%	15.8%	15.8%	68.4%	15.8%					10.5%	73.7%	15.8%	10.5%	68.4%	21.1%
38		9	15	14	2	25	3	16	21	1	0	32	6	7	19	12	3	30	5	1	14	4	2	29	7	2	24	12	
業	100%	23.7%	39.5%	36.8%	6.5%	80.6%	9.7%	42.1%	55.3%	2.6%	0.0%	84.2%	15.8%	18.4%	50.0%	31.6%	7.9%	78.9%	13.2%	5.3%	73.7%	21.1%	5.3%	76.3%	18.4%	5.3%	63.2%	31.6%	